さきちゃん砂防だより 希望

No.123 令和7年10月号 立谷沢川砂防出張所



キャンプ砂防2025 in 月山

～現場体験や地域学習を通じ「砂防事業と地域の暮らし・関わり」を知る～

濁沢第４砂防堰堤にてUAVを用いた池ノ台崩壊地見学　協力：（株）田村測量設計事務所

AM　現場体験



事前学習として立谷沢川流域の成り立ち、特徴、砂防事業について矢ノ目出張所長から説明を聞き現場へ出発します。（立谷沢まちづくりセンター）

濁沢崩壊地見学の後はキャンプ生がUAV操作に挑戦します。プロのサポートを受け真剣な眼差しで、慎重に空高く飛ばしていきます。（濁沢第４砂防堰堤）





PM　地域学習



午後からは立谷沢地域の歴史と文化、今も語り継がれる龍神信仰について学びました。

【講師】
出羽三山歴史博物館
渡部 幸 学芸員

立谷沢川は「暴れ川」として恐れられた一方で、過去には砂金が採れたりと利益をもたらす川でもあり、人々がこの川と向き合いながら暮らしてきたことがわかります。



キャンプ砂防とは？

国土交通省では、砂防事業の技術者を目指す学生を対象に中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的としてキャンプ砂防を全国で実施しています。東北では唯一、新庄河川事務所が実施事務所となっています。今年も5日間にわたり地域の歴史、抱える問題、防災対策のあり方を学び、その土地の個性を活かした様々な取り組みに触れます。

さきちゃんさんぽ



キャンプ生と記念撮影

流域治水教室
～庄内町の小中学生が学ぶ～

その1 理科『流れる水のはたらき』『土地のつくりと変化』を踏まえ、災害の発生原因となる地形と成り立ちについて学習しました。
立谷沢川流域の特徴と砂防施設の見学を行い、地域や防災について理解を深めました。

【実施日】10/1 余目第1小6年生・10/2 立川小5年生
10/8 余目第4小5年生・10/9 余目第2小5年生







多くの人の手作業でつくり上げられた
玉石づくりの堰堤
現代では復元することが難しいとされるほど
高度な技術でつくられています

その2 これまでの防災学習や模型実験、中学生は現地（被災地等）に足を運び学んだことを踏まえ、土砂災害、豪雨災害などから大切な命を守るための避難判断や行動について考えました。

【実施日】10/6 立川小6年生 ・ 10/7 立川中2年生







砂防ボランティアによる
土砂災害対策模型実験
土石流対策のほか地すべりと
がけ崩れの模型実験も行いました

テレビなどで耳にすることが増えた警報や避難情報。
いつ、どこに避難するか家族で話し合ったことはありますか？
「これまでも避難しなくて大丈夫だった」ということを経験している大人はなかなか避難しないという調査結果があります。
しかし、近年の激甚化する災害には通用しません。
ぜひ、自分から進んで避難する人＝**率先避難者**になってください。
だれか1人が避難を始めるとつられてまわりも避難し始める、自分の命もまわりの人の命も守ることにつながります。

第10回 月山龍神マラソン
～名水百選・歴史の里・味覚マラソン～

10月12日（日）、庄内町清川グランドをスタート・ゴールに、第10回月山龍神マラソンが開催されました。当日は雨が降り続き、気温の低い中での大会になりましたが新庄河川事務所からは今森直紀事務所長がハーフマラソンにエントリーし見事完走しました！今年も当出張所では《立谷沢川の龍神信仰と土砂災害》と題してパネル展示や土砂災害対策模型実験、砂防事業紹介を行いました。







立谷沢川流域
肝煎地区渓流保全工工事

工事が1件追加になりましたのでお知らせします。
場所は滝の沢橋上流を予定しております。
近隣の皆さまにはご迷惑をおかけしますが、
安全第一に工事を進めてまいります。
ご理解ご協力をお願いいたします。



工事概要：立谷沢川流路工の土砂撤去、根固工の補修
工期　：令和７年８月１２日～令和７年１１月２８日
受注者　：(株)安藤建設

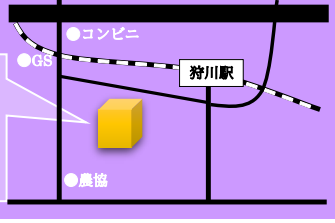


現場代理人
高橋武彦さん

国土交通省　東北地方整備局　新庄河川事務所
立谷沢川砂防出張所《砂防資料館併設》

〒999-6601東田川郡庄内町狩川字堅田20-23
電話：0234-56-2050　FAX：0234-56-2081
ホームページ　https://www.thr.mlit.go.jp/shinjyou





《砂防資料館》
●開館日／平日のみ
●開館時間／9～16時半
●入館料無料
SABOカード
配布中！
立谷沢川さぼう